

西日本生産性会議2016

第44回 広島開催

未来を創る労使の挑戦

～生産性の革新で次代を切り拓く～

と き 2016年7月21日^木～22日^金

と ころ リーガロイヤルホテル広島

〒730-0011 広島市中区基町6-78 tel.082-502-1121

主 催 中部生産性本部 関西生産性本部 四国生産性本部
九州生産性本部 中国生産性本部

協 賛 日本生産性本部・中国労組生産性会議

後 援 中国経済産業局・広島県・広島市
連合中国ブロック連絡会・中国経済連合会・広島経済同友会
中国地方商工会議所連合会・広島県経営者協会

ご 案 内

我が国の経済は、雇用・所得環境の改善傾向が続き、景気は緩やかな回復に向かうことが期待されていますが、本年4月の熊本、大分両県を中心とした震災の早期復興への対応が急務となっていることに加え、世界経済との相互作用が強まっている昨今、欧州や中東での政情不安や中国の経済動向の下振れ懸念、金融市場の動向等に不確実性があり、先行きは不透明と言わざるを得ない状況にあります。特に地方においては、人口減少による経済規模の縮小なども心配され、真の経済再生、地方創生を実現する事は、なかなか容易なことではありません。

このような環境下で、我が国ならびに地方経済が再び活力を取り戻していくためには、地方自らが創意工夫をし、自立の道を探ることが重要であり、今こそ、生産性運動の原点に立ち返り、未来に向け労使が一体となって、進むべき新たな道筋を切り拓いていかなければなりません。

西日本地域の5つの生産性本部（中部・関西・四国・九州・中国）は、1973年以降毎年「西日本生産性会議」を開催し、労使の共通課題について実践事例を持ち寄り、今後の具体的な行動の方向性を検討してまいりました。

第44回を迎える今回は、「未来を創る労使の挑戦～生産性の革新で次代を切り拓く～」を統一テーマとし、未来志向で前向きにチャレンジし、生産性の革新・向上に取り組むとの思いをもって、広島市にて開催いたします。

西日本地域の関係者が一堂に会し、それぞれの立場から日頃培ってきた貴重な経験や意見を交換する中で、生産性運動の発展と実践に役立てる機会にしたいと存じます。

ご多忙の折とは存じますが、関係者お誘い合わせのうえ、多数ご参加賜りますようお願い申し上げます。

2016年5月

中部生産性本部	会長	佐伯	卓
関西生産性本部	会長	大坪	清
四国生産性本部	会長	佐伯	勇人
九州生産性本部	会長	田中	優次
中国生産性本部	会長	荻田	知英

第44回 西日本生産性会議

未来を創る労使の挑戦 ～生産性の革新で次代を切り拓く～

1日目

7月21日(木) 13:30～18:20

13:30～13:50	●開会挨拶	中国生産性本部	会 長
13:50～14:50	●基調講演「この星に、たしかな未来を」	三菱重工業株式会社	取締役会長 大宮 英明 氏
14:50～15:10	休 憩		
15:10～17:10	●基調討議「未来を創る労使の挑戦～生産性の革新で次代を切り拓く～」		
	[パネリスト]	オムロン株式会社	取締役会長 立石 文雄 氏
		日本労働組合総連合会	会 長 神津里季生 氏
		慶應義塾大学	商学部教授 樋口 美雄 氏
	[コーディネーター]	ボストンコンサルティンググループ	
		シニア・パートナー・アンド・マネージング・ディレクター	御立 尚資 氏
	[座長]	中部生産性本部	会 長 佐伯 卓 (東邦ガス株式会社 代表取締役会長)
17:20～18:20	●カクテルパーティー		

2日目

7月22日(金) 9:30～16:10

9:30～11:30	●第1セッション「働き方改革と生産性向上」		
	[パネリスト]	株式会社キャリアン	代表取締役 河野真理子 氏
		武田薬品労働組合	中央執行委員長 篠原 正人 氏
		日本航空株式会社	執行役員 西日本地区支配人 中野 星子 氏
	[コーディネーター]	法政大学	
		経営大学院イノベーション・マネジメント研究科教授	藤村 博之 氏
	[座長]	九州生産性本部	会 長 田中 優次 (西部ガス株式会社 代表取締役会長)
11:30～12:30	昼 食		
12:30～14:30	●第2セッション「知恵と工夫の独自経営～元気企業が未来を創る～」		
	[パネリスト]	株式会社果実堂	代表取締役社長 井出 剛 氏
		プライミクス株式会社	代表取締役社長 古市 尚 氏
		本多電子株式会社	代表取締役社長 本多 洋介 氏
	[コーディネーター]	シンクタンク・ソフィアバンク	代 表 藤沢 久美 氏
	[座長]	関西生産性本部	会 長 大坪 清 (レンゴー株式会社 代表取締役会長兼社長)
14:30～14:45	休 憩		
14:45～16:00	●特別講演「トップリーダーの幸せが未来を動かす～次代へ渡すバトン～」	日本メンタルヘルス協会	代表/心理カウンセラー 衛藤 信之 氏
16:00～16:10	●閉会挨拶	四国生産性本部	会 長 佐伯 勇人 (四国電力株式会社 取締役社長)

1日目

7月21日(木)

13:30~13:50 **開会挨拶**

中国生産性本部 会 長

13:50~14:50 **基調講演**

「この星に、たしかな未来を」



三菱重工業株式会社 取締役会長 おお みや ひで あき 大宮 英明 氏

1969年に東京大学工学部航空学科卒業、三菱重工業に入社。

航空機の開発・設計に長く携わり、名古屋航空宇宙システム製作所副所長を経て、産業機器、冷熱などの事業に関わる。

2008年取締役社長、13年より現職。

また、2011年5月から15年6月まで経団連副会長、14年4月から16年4月まで日本オペレーションズ・リサーチ学会会長、14年6月からセイコーエプソン株式会社取締役、15年7月から三菱財団理事長を務める。

15:10～17:10 **基調討議**

座長：中部生産性本部 会長 佐伯 卓
(東邦ガス株式会社 代表取締役会長)

「未来を創る労使の挑戦 ～生産性の革新で次代を切り拓く～」

ねらい

労使が未来志向で日本の経済・社会を考え、現世代が先代から受け取った恩恵をさらに知恵と工夫を積み上げ進化させたいと、次の世代へ引き継ぐという想いをテーマとし、少子高齢社会をはじめとした大きな環境変化に対応しながら、希望ある未来の実現に向け、いかに生産性の革新に取り組み、挑戦していくのかを話し合う。

パネリスト



オムロン株式会社 取締役会長 ^{たて いし} ^{ふみ お} 立石 文雄 氏

1972年慶應義塾大学商学部卒業。2011年東北大学大学院工学研究科博士課程後期修了。博士(工学)。
1975年に立石電機株式会社(現オムロン株式会社)入社。インダストリアル事業部、制御機器企画課を経て、1987年OMRON CANADA INC. 社長。1997年、同社取締役。OMRON EUROPE B.V. 社長。1999年、同社執行役員常務。2001年同社グループ戦略室長。2003年より同社執行役員副社長、インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー社長を歴任し、2008年同社取締役副会長。2013年より現職。

【主な社外役職】

一般社団法人日本経済団体連合会起業・中堅企業活性化委員会委員長。
公益社団法人経済同友会幹事 一般社団法人日本電機工業会(JEMA)理事。



日本労働組合総連合会 会長 ^{こう づ} ^{り き} ^お 神津 里季生 氏

1956年生まれ。東京都出身。
1979年 4月 新日本製鐵株式会社 入社
1984年 9月 新日本製鐵本社労働組合 執行委員
1988年 9月 日本鉄鋼産業労働組合連合会 特別本部員 (内1990年4月～1993年4月 在タイ日本大使館派遣)
1994年 9月～2006年9月 新日本製鐵労働組合連合会 書記次長、書記長、会長 歴任
2006年 9月 日本基幹産業労働組合連合会 事務局長
2010年 9月 日本基幹産業労働組合連合会 中央執行委員長
2013年10月 日本労働組合総連合会 事務局長
2015年10月より現職



慶應義塾大学 商学部教授 ^{ひ ぐち} ^{よし お} 樋口 美雄 氏

1952年生まれ。栃木県出身。
75年慶應義塾大学商学部卒業、77年慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了。91年同博士課程修了。
慶應義塾大学商学部助教授などを経て、91年教授に就任。この間、コロンビア大学経済学部、スタンフォード大学経済政策研究所などで客員教授として活躍したほか、慶應義塾大学商学部長・大学院商学研究科委員も務めた。
専門は労働経済学、計量経済学。少子高齢化・人口減少をメインテーマに、少子高齢化、女性の雇用、地方創生といった今日的課題に対して、実証的かつ理論的に分析する。また、政府機関のさまざまな審議会や委員会などに参画し、具体的に提言を行うなど、幅広く活躍している。

【主な兼職】

内閣官房・まち・ひと・しごと創生会議 構成員、内閣府 一億総活躍国民会議 委員、内閣官房 経済の好循環実現に向けた政労使会議委員、厚生労働省・労働政策審議会・会長、内閣府・ジョブ・カード推進協議会・会長、日本銀行金融研究所顧問 など。

【主な著書】

「働き方と幸福度のダイナミズム 家族とライフサイクルの影響」(2013年 慶應義塾大学出版会)
「日本の貧困動態と非正規労働者の正規雇用化 最低賃金と能力開発の経済効果」(2013年 東洋経済出版社) など多数。

コーディネーター



ポストコンサルティンググループ シニア・パートナー・アンド・マネージング・ディレクター ^{み たち} ^{たか し} 御立 尚資 氏

京都大学文学部米文学科卒
ハーバード大学経営学修士(MBA with High Distinction, Baker Scholar)
日本航空株式会社にて、経営企画部門などを経て、BCGに入社。
2005年から2015年まで日本代表、2006年から2013年までBCGグローバル経営会議メンバーをつとめる。
経済同友会副代表幹事、同 観光立国委員会委員長(2013-2014年度 同 医療・福祉改革委員会委員長)
World Economic Forum Global Agenda Council on Geo-economicsメンバー
国連世界食糧計画WFP協会 理事
京都大学経営管理大学院 客員教授

【著書】

東洋経済新報社「戦略[脳]を鍛える～BCG流戦略発想の技術」
日本経済新聞出版社「経営思考の「補助線」」
日本経済新聞出版社「変化の時代、変わる力」
日本評論社「ビジネスゲームセオリー：経営戦略をゲーム理論で考える」(共著)
日本経済新聞出版社「ジオエコノミクスの世紀 Gゼロ後の日本が生き残る道」(共著)

17:20～18:20 **カクテルパーティー**

2日目

7月22日金

9:30~11:30 **第1セッション**

座長：九州生産性本部 会長 **田中 優次**
(西部ガス株式会社 代表取締役会長)

「働き方改革と生産性向上」

ねらい

さまざまな働き方(生き方)が選択しやすい社会にしていくには、多様性を活かす経営を考え、必要と
思い思われる人材を一人でも多く創っていく事で、生産性の向上にもつながっていく。
働き方改革の多種多様な論点の中から、専門家、労働組合、企業それぞれの立場・視点で働き方
改革と生産性向上についての取り組みや意見を伺う。

パネリスト



株式会社キャリアン 代表取締役 ^{こうの まりこ} **河野 真理子** 氏

メーカーにて国際部門、人事部門勤務後、1989年にキャリアを中心とする人材育成専門の子会社設立に携わり常務、社長。
同社独立後会長。2013年より現職。持続的経営のためのイノベーションの必要性を重視し、組織のダイバーシティ推進、人材育
成とマネジメント、生涯キャリアと能力開発等のコンサルティングを手掛ける。東京工業大学大学院技術経営修士(MOT)修了。
神奈川県教育委員会委員、独立行政法人労働政策研究・研修機構 総合評価諮問委員。
日本生産性本部 ワークライフバランス推進会議幹事、同サービス産業生産性協議会幹事、同ダイバーシティ推進センター所長。



武田薬品労働組合 中央執行委員長 ^{しの はら まさと} **篠原 正人** 氏

1988年武田薬品工業株式会社入社
1996年武田薬品労働組合研開支部書記長、支部長
2004年武田薬品労働組合中央副書記長、中央書記長、副中央執行委員長(大阪支部長)を経て
2012年中央執行委員長就任(現職)
武田友好関係労働組合全国連合会会長、UAゼンセン製造産業部門医薬化粧品部会長などを兼任



日本航空株式会社 執行役員 西日本地区支配人 ^{なかの ほしこ} **中野 星子** 氏

1982年3月青山学院大学法学部卒業 大学3年、4年に青山学院の文部省交換留学生として指定大学、UOP=パシフィック大
学、法学部に留学
1982年4月日本航空株式会社 女性総合職一期生として入社、札幌空港支店に配属
1984年東京支店 国内/国際予約部、1986年本社 国内マーケティング部
1988年本社 宣伝部、1992年東京支店 国際旅客販売部(1999年 課長に昇格)
2002年本社 国際旅客営業部(タリフ担当)(2005年 次長に昇格)、2007年4月東京支店法人センター法人販売第1部長
2010年6月アクセス国際ネットワーク 代表取締役社長(出向)、2014年4月より現任
【社外団体での役職】公益社団法人関西経済連合会 評議員、一般社団法人関西経済同友会 幹事
安全保障委員会 副委員長、大阪商工会議所 1号議員
【趣味】絵画鑑賞、音楽鑑賞、数独、トレッキング

コーディネーター



法政大学 経営大学院イノベーション・マネジメント研究科教授 ^{ふじむら ひろゆき} **藤村 博之** 氏

京都大学博士(経済学)
京都大学助手、滋賀大学助教授、教授を経て、1997年に法政大学経営学部教授、2004年4月から現職。
2007年度から4年間、法政大学キャリアセンター長を兼任。専門は労使関係論、人材育成論。
【主な著書】
『新しい人事労務管理 [第5版]』(共著、有斐閣、2015年)
『働く』は、これから一成熟社会の労働を考える』(共著、岩波書店、2014年)
『人材獲得競争—世界の頭脳をどう生かすか』(共編、学生社、2010年)などがある。

「知恵と工夫の独自経営～元気企業が未来を創る～」

ねらい

地方に活動の基盤を置き、独自経営、技術でキラリと光る企業のトップをお招きし、人を大切にする経営、モノづくりへのこだわり、新分野への挑戦、地域社会との調和、地方創生など、「元気な企業」は、商品やサービスにどう付加価値をつけてきたのか、経営の秘訣は何か、元気な企業ならではの視点でお話し頂く。

パネリスト

株式会社果実堂 代表取締役社長 **井出 剛氏**

1961年福岡市生まれ。同志社大学卒業後、実父が創業した医薬品安全性受託研究機関(株式会社パナファーム・ラボラトリーズ)を経て1997年に株式会社トランスジェニックを創業。2002年12月に東証マザーズに株式公開を果たす。2005年に株式会社果実堂を設立。農業ベンチャー企業として2社目の上場を目指している。2002年10月「新事業挑戦者表彰」内閣総理大臣表彰 受賞。2003年10月「藍綬褒章」新産業貢献 受章。

■企業紹介 熊本県上益城郡：大規模ベビーリーフの生産・販売、機能的発芽食品の開発・製造・販売
ベビーリーフの大規模栽培に取組み、年間570トン(2015年度)を生産している(生産量は全国1位)。自社に研究所を構え「サイエンス農業」を導入している。また、三井物産株式会社、カゴメ株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社富士通九州システムズといった事業会社と資本・業務提携をしており、これらの企業の高度な技術を集結することで、①ITと農業の融合、②改善の取組みを通じた人材育成、③経営基盤の強化を進展させ、サイエンスによる農業ビジネスのさらなる飛躍を目指す。

プライミクス株式会社 代表取締役社長 **古市 尚氏**

1957年10月生まれ。早稲田大学教育学部卒業後、1987年にThe Culinary Institute of Americaにてホテルやレストラン経営について習得。

1990年 株式会社トレッドアソシエイツ(現 株式会社味の素コミュニケーションズ)の設立に参画し、1995年にはフィーストインターナショナル株式会社を設立する。

2004年に特殊機化工業株式会社(現 プライミクス株式会社)代表取締役社長に就任し、経営品質向上プログラムを社内を導入しての変革に取り組んできた。

2015年8月本社と工場を淡路島に移転して、職住共存の次世代ワーク・ライフ・スタイルの実現を目指している。

■企業紹介 兵庫県淡路市：国内初の乳化分散が可能な高速攪拌機メーカーとして国内トップシェアを有し、医薬品・化粧品・食品から化学・IT・エネルギー分野まで、流体の乳化、分散、微粒化、混練、移送に関する機器の製造販売を行っている。また、近年は再生可能エネルギーの蓄電システムとして使われる2次電池(リチウムイオン電池などの充電可能な電池)関連事業にも関与し、特にリチウム電池、燃料電池の電極板スリラー製造分野では高い評価を得ている。

本多電子株式会社 代表取締役社長 **本多 洋介氏**

1956年愛知県豊橋市生まれ。京都産業大学理学部卒業後、80年に本多電子入社。

米国留学ののち取締役を経て87年に代表取締役社長就任。超音波技術を核に産業機器などの新分野開拓に注力し、無借金経営を実現。好きな言葉は「人生は全人格の放射の結果である」。

■企業紹介 愛知県豊橋市：魚群探知機、超音波医療用診断装置、超音波洗浄機、超音波レベル計、超音波探傷映像装置、超音波顕微鏡等、超音波応用機器及び圧電セラミックセンサの製造販売

1956年、世界初のトランススタパーダブル魚群探知機を発売してから、常に超音波による新しい価値を実現してきた。独創性を大切に、超音波の最先端技術を世の中に紹介すると共に、様々な分野との共同開発プロジェクトを進める事で常に技術文化の交流に力を注いでいる。このオープンテクノロジーの理念を機軸に、明日の人々のよりよい生活創りを目指している。

コーディネーター

シンクタンク・ソフィアバンク 代表 **藤沢 久美氏**

国内外の投資運用会社勤務を経て、96年に日本初の投資信託評価会社を起業。99年、同社を世界的格付け会社スタンダード&プアーズに売却後、2000年にシンクタンク・ソフィアバンクの設立に参画。現在、代表。

07年には、ダボス会議を主宰する世界経済フォーラムより「ヤング・グローバル・リーダー」に選出され、08年には、世界の課題を議論する「グローバル・アジェンダ・カウンシル」のメンバーにも選出され、世界30カ国以上を訪問。

文部科学省参与、政府各省の審議委員や日本証券業協会公益理事等の公職に加え、豊田通商など上場企業の社外取締役なども兼務。

また、国内外の多くのリーダーとの交流や対談の機会が多く、取材した企業だけでも、1000社を超え、ネットラジオ「藤沢久美の社長Talk」のほか、書籍、雑誌、テレビ、各地での講演などを通して、リーダーのあり方や社会の課題を考えるヒントを発信している。近著は、『最高のリーダーは何もしない』(2016年2月)。『なぜ、川崎モデルは成功したのか?』等著書多数。

2日目

7月22日^金

14:45～16:00 **特別講演**

「トップリーダーの幸せが未来を動かす～次代へ渡すバトン～」



日本メンタルヘルス協会 代表／心理カウンセラー ^{え とう}衛藤 ^{のぶ ゆき}信之氏

日本で従来おこなわれていた、理論中心の心理学に変わり、実践的な日常で使えるコミュニケーションプログラムを開発。多くの一部上場企業から「今までの研修で一番、参加者に変化がみられた」と全国で反響を呼び、年間300回を超える企業研修を受け持ち、顧問企業数はトップクラス。また、各地で開催されている心理学の教室はキャンセル待ちが続く。

主な講演実績は大阪ガス・東京ガス・アシックス・パナソニック・ソニー・NEC・日産自動車・マツダ・トヨタ自動車・ANA・大和ハウス工業・日本郵政グループ・プルデンシャル生命保険等。著書は『心時代の夜明け～本当の幸せを求めて～』（PHP研究所）、『上司の心理学 部下の心をつかみ、能力を高める』（ダイヤモンド社）、『イーグルに訊け ～インディアンに学ぶ人生哲学～』（飛鳥新社）、『マンガでわかる上司と部下の職場系心理学』、『会社組織が蘇る！職場系心理学』（実業之日本社）、『今日は、心を見つめる日。』（サンマーク出版）『幸せの引き出しを開ける ころこのエステ』（サンマーク文庫）

16:00～16:10 **閉会挨拶**

四国生産性本部 会長 佐伯 勇人
(四国電力株式会社 取締役社長)

●申込案内

と き 2016年 **7月21日** **木** ~ **22日** **金**

と ころ **リーガロイヤルホテル広島 4階「ロイヤルホール」**
〒730-0011 広島市中区基町6-78 tel.082-502-1121

参加対象者 **経営トップ・経営幹部、労働組合幹部、学識経験者、関係官公庁幹部**

参加申込方法 参加申込書に必要事項をご記入のうえ、7月7日(木)までに、**中国生産性本部**へお申し込みください。申し込み受付後、参加証と参加費請求書をご送付いたします。
※お申し込み後の参加取り消しは、**7月14日(木)**までに中国生産性本部へご連絡願います。
それ以降につきましては、参加費の払戻しはいたしかねますので、代理の方のご参加をお願いいたします。

参加費 **経営側単独**でのご参加の場合 お一人につき **50,760円**(税抜47,000円)

労働側単独でのご参加の場合 お一人につき **30,240円**(税抜28,000円)

労使ペアでのご参加の場合 一組につき **77,760円**(税抜72,000円)

※いずれも資料代・カクテルパーティー代・2日目昼食代を含みます。

※**労使ペア**の場合、参加申込書での指定がない限り、
[**経営側48,600円、労働側29,160円**]に振り分けてご請求いたします。

お申し込み先 **中国生産性本部** [担当：里岡・浜本]
〒730-0041 広島市中区小町4-33 中電ビル2号館4階 TEL 082-242-7972 FAX 082-242-7973

お問合せ先 **中部地区**
中部生産性本部 [担当：春田・雲井]
〒460-0003 名古屋市中区錦2-15-15 豊島ビル11階 TEL 052-221-1261 FAX 052-221-1265

関西地区

関西生産性本部 [担当：井上・川島]
〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階 TEL 06-6444-6464 FAX 06-6444-6450

四国地区

四国生産性本部 [担当：古市・中村]
〒760-0033 高松市丸の内2-5 ヨンデンビル4階 TEL 087-851-4262 FAX 087-851-4270

九州地区

九州生産性本部 [担当：横谷・和田・松田]
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館6階 TEL 092-771-6481 FAX 092-771-6490

個人情報の取扱いについて

- 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、当本部個人情報保護方針の内容については、当本部ホームページをご参照願います。参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申し込みいただきますようお願いいたします。
- 個人情報の開示、訂正、削除については、以下の窓口までお問合せください。
- 本案内記載事項の無断転載をお断りします。

個人情報に関するお問合せ先 担当 里岡・浜本 TEL 082-242-7972 FAX 082-242-7973

● 会場案内 [リーガロイヤルホテル広島 〒730-0011 広島市中区基町6-78 TEL : (082)502-1121 (代表)]



● JR「広島」駅より

① JR・アストラムラインの場合

・「広島」駅からJR山陽本線(岩国方面)またはJR可部線に乗換→JR「新白鳥」駅下車(約2分) [片道¥140]→連絡通路からアストラムライン「新白鳥」駅(本通り方面)→「県庁前」駅下車(約2分) [片道¥190]→「西2出口(基町クレド方面)」より地上へ出てすぐ

② 路面電車の場合

・路面電車(1番「広島港」行き・2番「宮島」行き・6番「江波」行き)に乗車→「紙屋町東」もしくは「紙屋町西」下車(約15分) [片道¥160]→徒歩約3分

※地下道を通る場合、地下街中央広場より北通り方面へ北出口1から地上へ

③ 市内バスの場合

・広島バス(21号線・22号線・24号線・25号線)に乗車→「紙屋町」下車(約8分) [片道¥160]→徒歩約5分

・広電バス(2号線・3号線)に乗車→「紙屋町」下車(約8分) [片道¥160]→徒歩約5分

● 広島空港より

・広島空港リムジンバス(高速バス)で約55分、「広島バスセンター」下車 [片道¥1,340]

● 広島港より

・路面電車(1番「広島駅」行き・3番「広電西広島」行き)で約30分、「紙屋町東」もしくは「紙屋町西」下車 [片道¥160]→徒歩約3分

・広島バス21号線にて約25分、「紙屋町」下車 [片道¥220]

※詳しくは各交通機関のホームページ等でご確認ください。

● タクシーをご利用の場合

・JR「広島」駅より…約10分 [約¥1,000]

・広島空港より…約1時間 [約¥15,000] (高速料金含む)

※時間・料金は目安です。道路事情により異なります。

● 宿泊ホテルのご案内

会議参加時の宿泊はお手数ではございますが、各自でお手配をお願い申し上げます。

ご参考までに会場のリーガロイヤルホテル広島並びに近辺のホテルをご案内いたします。その他にもホテルはございますが、外国人旅行者の増加等で混雑が予想されますので、お早めのご予約をお勧めいたします。

会場近辺の主なホテル

ホテル名	電話番号	ホテル名	電話番号
リーガロイヤルホテル広島	082-502-1121	D ホテルグランヴィア広島	082-262-1111
A ANAクラウンプラザホテル広島	082-241-1111	E ホテルサンルート広島	082-249-3600
B シェラトンホテル広島	082-262-7111	F 三井ガーデンホテル広島	082-240-1131
C 広島ワシントンホテル	082-553-2222	G メルパルク広島	082-222-8501

中国生産性本部 行 FAX 082-242-7973

第44回 西日本生産性会議 参加申込書

所属本部 (○で囲んでください)	中部	関西	四国	九州	中国
---------------------	----	----	----	----	----

フリガナ 会社名				
所在地	〒 -				
	TEL () -		FAX () -		
ご連絡担当者	所属 ・ 役職		フリガナ 氏名		

フリガナ 労働組合名				
所在地	〒 -				
	TEL () -		FAX () -		
ご連絡担当者	所属 ・ 役職		フリガナ 氏名		

参加者

所属・役職	氏名	性別	労使の別	21日		22日
				会議	カクテル パーティー	会議
	フリガナ	男・女	経・労			
	フリガナ	男・女	経・労			
	フリガナ	男・女	経・労			
	フリガナ	男・女	経・労			
	フリガナ	男・女	経・労			

- ご参加されるところに○印を、不参加の場合は×印をお付けください。
- 労使ペアでのお申し込みの場合は、同じ用紙でお申し込みください。
- 申し込みを受付後、「参加証」および「請求書」をお送りいたします。

労使ペアでのお申し込みのみ、請求先と金額をご指定下さい。(①②③、いずれかに○印を記入願います。)

※ 分割請求をご希望で、請求金額にご指定がある場合は、③の欄に金額をご記入願います。

<input type="checkbox"/>	① 経営側一括請求	<input type="checkbox"/>	② 労組側一括請求
<input type="checkbox"/>	③ 経営 _____ 円 / 労組 _____ 円		

必要事項をご記入の上、下記まで郵送もしくはFAXにてお送りください。

中国生産性本部「第44回 西日本生産性会議」係

〒730-0041 広島市中区小町4-33 中電ビル2号館4階
TEL (082) 242-7972 FAX (082) 242-7973
E-mail: zc363790@pnet.gr.energia.co.jp

受付 No.

生産性運動の三原則

雇用の維持・拡大

生産性の向上は、究極において雇用を拡大するものであるが、過渡的な過剰人員に対しては、国民経済的な観点に立って能う限り配置転換その他により、失業を防止するよう官民協力して適切な措置を講ずるものとする。

労使の協力と協議

生産性向上のための具体的な方法については、各企業の実情に即し、労使が協力してこれを研究し、協議するものとする。

成果の公正配分

生産性向上の諸成果は、経営者、労働者および消費者に、国民経済の実情に応じて公正に配分されるものとする。